

小おし
お時間...♡
ありませんか〜?

どーも♡
オニザン♡

アム♡

ムム♡
ムム♡
ムム♡

ムム♡
ムム♡

ト?!



（ふう……疲れた疲れた……
最近が悪質なジャンク屋が多くて困るよ全く）

（さっさと帰って……
久々にシコって寝るか……はあ……）

「ちよつとお……
そこのおじさあ……ん」

（あ……？）

クル……

「こんばんわあ〜♡」

「うう...♡」

うう...

うう...♡

うう...♡

うう...♡



(オイオイなんだこの痴女…ッ♡
しかもこの制服…ッ…確か…)

(ハイバリー…ッ…!!?)

(お嬢様学校じゃねーか…!!)

「手コキなら500ハイト…
フェラなら1000ハイト……」

ドキドキ…



「ゴムありセックスは1500ハイト
ゴムなしセックスは2500ハイト…」

「どおですかあ…?」

ニヤニヤ♡

「…ゴ…ゴクツ…」



「ちよ、ちよつと待ってな…
嬢ちゃん……」

ゴム……

(チツ…せつかくならゴムなしで
ぶち込みたいが…持ち合わせが……)

(下ろしに行きたい、けど……
その間に別の男の所に行っちゃおうかも……)



「……ふーずんの?..」

「ふふ……」

「ふーずん……」



「フェ…フェラ頼むわ……♡」

「毎度あり♡」





「……は？」



「ちよ、ちよつとオジサン…
デカすぎない…？これ…」

「あ…？…まあ最近忙しくて
あんまシコれてねえからな…」

「……溜まってたらこんなもんだろ？」

ドキ

ドキ

ドキ
ドキ
ドキ



(それにしても……
おつきすぎるっていうか……)

(完全に想定外なんだけど……)

(……匂いもすご……
こんな見たことない……♡)



「おいおい、何ボーっとしてんだ？
高い金払ってんだぞ？」

「早くしてくれよ……」

「う、うつさいな……
分かったよ……やるから……」



「黙って……」



「ろっ…♡」

「おっほ…♡」



「おお〜…♡
なかなか…うめえじゃねえの…」



(くっせー)..
ちゃんと洗つとけよ.....!!)

(ほんつと最悪.....♡)

(でもまあ金貰えるし.....
さっさと終わらせよ.....)



「うおっっっっっ♡」



「ハイバリ行ってるような
お嬢様のクセにッ……」

「なんでこんなうめえんだよ……ッ♡」

「この変態JKが……ッ……♡」

だっだっ
んんんん……♡
ミヤノム……♡



(あーもうっさいなあ
さっさと出せよー……)





「うおっ...♡
やっぐ...で...出...♡」

(.....ん...?)

ズキズキ...♡♡♡

?

「出るっ!!」



「おっほお〜……♡」

(このオッサン……!!)





「ちよつとオッサン!!
いきなり出さないでよ!!」

「わ、悪い……♡
久々だったからよ……♡」



「……てゆーか、あんな出したのに
なんでまだデカいままなわけ？」

「そ、そりゃあ……
溜まってるからなあ……」





「……………あのさ……」

「…ん？」

「……ま、まだ……やる？」

ミキ……♡
ミキ……♡

「な、なんだ嬢ちゃん……
まだやりたいのか？」

「バツカ、なわけないじゃん……!!」

「まだ稼げるんなら
稼いでやろうと思っただけ!!」

くちゅ!!



「へ…へえ……♡」

「それじゃあよ……」



「金下ろしてくっから……
生ハメ……どうよ……？」

「……」

「……別にいいけど……♡」



続く……？